

MTBIを予防しよう！

頭を守る

- 車ではシートベルトやチャイルドシートを必ず使う。
- 子ども（13歳未満）が自転車に乗るときはヘルメットを着用する。
- スポーツではルールを守り、防具などを適切に使う。
- 赤ちゃんを強く揺さぶらない。
- ベビーカーやイス、買い物カートなどからの転落をベルト等で防止する。



転倒を防ぐ

- 室内や階段の環境を整える（床の物の整理、段差の解消、滑り止め、手すり、照明）。
- 足腰の筋力を鍛える。
- 脱げにくく、安定した靴を履く。



頭を打ったときの対応

次のような症状があるときは、医療機関を受診してください。

（数時間から数週間後でも）

- 意識状態がいつもと違いぼんやりする。
- 事故前後の記憶がない。
- けいれん、記憶障害、理解力低下など。
- 手足に力が入りにくい、しびれる。
- 頭痛、嘔吐、吐き気、めまいなど。

問い合わせ・相談窓口

身体とこころの相談

品川保健センター

電話：3474-2903

FAX：3474-2034

大井保健センター

電話：3772-2666

FAX：3772-2570

荏原保健センター

電話：3788-7016

FAX：3788-7900

※精神保健福祉手帳の申請も上記保健センターで行っています。

身体障害者手帳に関すること

障害者福祉課 障害者相談係

電話：5742-6710

FAX：3775-2000

MTBI

軽度外傷性脳損傷

Mild Traumatic Brain Injury

エム ティー ビー アイ



MTBIを理解しよう

受傷後の意識障害が軽度でも、事故後の後遺症のために生活や仕事に支障が出て、周囲からは理解を得られず、つらい思いをしている方がいます。MTBIの理解が大切です。

品川区



ひろげよう、おもいやりのわ

軽度外傷性脳損傷 Mild Traumatic Brain Injury エムティービーアイとは

MTBIの原因は？

交通事故



スポーツ外傷



転倒 高所からの転落



暴力 乳幼児を 激しく揺さぶる



MTBIの症状は？

症状には個人差があります。

高次脳機能障害

記憶障害、注意力低下、
集中力低下、理解力低下、
情緒不安定



脳神経まひ

味覚・嗅覚障害、
視野狭窄・眼球運動障害
難聴や耳鳴り、平衡感覚障害、
嚥下障害（むせる）



運動・知覚まひ

手足の動きが悪い、感覚が鈍い

排尿・排便の障害

頻尿、残尿感、失禁

自律神経障害

発汗異常、頻脈

てんかん発作



MTBIの診断

MTBI は、画像検査でも異常が写らないことが多く、脳神経外科・神経内科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・精神科・泌尿器科・リハビリテーション科などの協力による総合的な診察と神経診断学的検査により、診断されます。

